

許 可 番 号	倫-798
研 究 課 題 名	光干渉断層映像法ガイド下血行再建術の患者背景に関する研究 (Tokyo / Kanagawa / Chiba / Shizuoka / Ibaraki active OCT applications for ACS regarding patient background (TACTICS background registry))
診 療 科	循環器内科
研 究 責 任 者	諏訪 哲
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	昭和大学病院 医学部内科学講座循環器内科学部門 教授 新家 俊郎
研究の目的と方法	<p>急性冠症候群とは、急に冠動脈内に血栓などが生じ、心筋に必要な酸素を送れないような状態の疾患群をさし、急性心筋梗塞や不安定狭心症がこれにあたります。最新の技術進歩により、光干渉断層法（OCT という検査）で冠動脈内の血栓が生じるメカニズム（しくみ）を詳しく調べられるようになりました。国内においては、日本人はどのように急性冠症候群が起きるのか、また、その理由ごとに将来の再発との関連があるのか、あまり研究成果がないのが現在の状況です。</p> <p>これを解明するべく、光干渉断層映像法による急性冠症候群の発症メカニズムの解明と予後に関する研究（Tokyo / Kanagawa / Chiba / Shizuoka / Ibaraki active OCT applications for ACS、以下、TACTICS 研究といいます）が進行しています。しかし、TACTICS 研究では、OCT を使用した急性冠症候群の患者さんを対象としており、それ以外の急性冠症候群患者さんを対象としておりません。そのため、急性冠症候群の患者さんのうち、どのような患者さんで OCT を使用されたのかは、TACTICS 研究ではわかりません。</p> <p>本研究では、入院した ACS 患者（20 歳以上）さんのうち、発症から 24 時間以内に PCI した症例かつ、TACTICS 研究に登録しなかった全症例を対象とし、臨床的に OCT が使用されていない患者さんの背景、特徴を調査することを目的としています。さらに、TACTICS 研究に参加している昭和大学以外の施設とデータを集約し、TACTICS 研究に登録された患者群と、登録されなかった患者群との比較検討を行います。</p> <p>本研究は学術研究であり、昭和大学病院に入院中の患者データを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて「9.診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	カルテ番号、来院日、年齢、診断名、TACTICS registry に登録しなかった理由、OCT 以外の血管内イメージングを使用の有無とその理由

研究対象者	2019年11月13日から2026年3月31日の間に当院で治療を行った急性冠症候群患者様
研究対象期間	医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
利用する者の範囲	多施設共同研究 研究代表機関名：昭和大学病院 医学部内科学講座循環器内科学部門 代表研究責任者：教授 新家 俊郎
個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 循環器内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：諏訪 哲